

水をつくる

広域的水道整備計画——*



将来は水道の広域化を

さきの第八〇国会で、「水道法」が改正されました。広域的水道整備計画に関する規定が新たに設けられたものです。

この「広域化」のねらいは、隣接市町村でさえも水道料金に大きな格差があるが、これを平等な料金体系にしたい。

隣接する市町村の配水管のムダをなくし、合理的な配管網にする。

ダムや川からの取水施設、浄水場などを共同で使うことによりコストをさげるとのことです。そしてゆくゆくは浄水場を専営として、末端家庭への給水事業を市町村が分担するところまで持つて

「水」は限りある資源

今年 8月1日を「水の日」に
から

水は、私たちが生活していくために、欠くことのできない資源です。炊事、洗たくなど、日常生活で使用されることはもちろん、お米をはじめ、あらゆる農作物を育てるために、また、いろいろな工業製品を作るために、水は大切な役割を果たしています。

そのほかにも、消雪用水や水力発電、養魚、舟運、観光、レクリエーションなどでも水が利用されており、実に多くのところで水が使われています。しかし、この水も、使用量が増えるにたがって、しだいに限られた貴重な資源になってきました。

水の状況を正しく認識して、大切に、有効に使うことがこれからの私たちの課題であるといえましょう。

このようなことから「水」に対する理解と認識を一層深めてもらうため、今年から国土庁が中心になって「水の日」を8月1日に、また「水の週間」を8月1日から7日まで設け、水に関する啓もう運動を実施することになりました。これを機会に、私たちが最も身近な水について、あらためて考えてみるとともに、貴重な水をさらに大切に使うことにしましょう。

いくことを理想としています。なお全国的にみても、すでに県営で行っているところが二十九事業、企業団営で行っているところが九十六事業あり、近所では、水原町が隣接二村と共同で企業団をつくって水道事業を行っています。

関係市町村と共同して

阿賀野川の水も有限です。しかし、水需要はどんどん増えていきます。現在あるいは近い将来、阿賀野川から水源を求める必要に迫られる市町村は、上川村、鹿瀬町、津川町、三川村、村松町、五泉市、安田町、水原企業団、新津市、横越村、亀田町、豊栄市の十二市町村ですが、いずれも数年後には

水需要が水利権をオーバーすると思われています。水道事業はそれぞれ独自の沿革をもち、さまざまに異なる経営環境のもとで、地域住民の福祉の向上に最善を尽くしています。水資源が不足だからといって、各事業所が利害関係によって対立しても意味がありません。広域水道としての共通の目的を達成するために、共同しあえる事業の推進を計るべきであることから、

さる七月十九日、阿賀野川水系関係市町村の会合がはじめてもたれました。

会議では、昭和七十年までの各市町村の水需要の見込みを出しあい、阿賀野川の水利用権がどれほど不足するか、不足する場合の対応策、共同してやれることは何であるかなどを話しあいました。限りあ

水利権とは：

主として、河川の水を継続的に使用する権利を「水利権」といいます。川の水だからといって、無制限に取水することとは禁じられています。当市は、現在建設省から許可されているのは毎秒〇・四四六トンで、一日約三万八千トンまで取水できます。しかし、昭和五十五年にはこれ以上に水需要が増えるものと予想され、取水量を増やそうとしても、阿賀野川の流量にはほとんど余裕がありません。今後、どこから取水するかが大きな問題になっています。

お買物、ご用命は市内で

最新鋭機パーマックドライ

速く・安く・確かな仕上げ

朝9時30分までの持込は当日仕上がり

① マルヤドライクリーニング
本町1 猫山医院前 TEL 2 0739

フードセンターショップス山谷持込店も御利用下さい

翌日納品 料金割引き

総合結婚式場

＜春祥殿＞

御結婚披露宴会・歓送迎会・クラス会・各種御会合に御利用下さい。お茶会には松花堂弁当をどうぞ。

新津市本町一丁目 ☎(2)代1600

